

## 2021 年度 小委員会活動成果報告

(2022 年 2 月 1 日作成)

小委員会名	バイオフィマティックデザイン改訂本 作成小委員会	主 査 名：廣谷 純子 就任年月：2020 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学本委員会 (企画刊行運営委員会)	委員長名：秋元 孝之 主 査 名：持田 灯
設 置 期 間	2020 年 4 月 ～ 2022 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	(設置目的) 2011 年に出版した「設計のための建築環境学 みつける・つくるバイオフィマティックデザイン (彰国社)」に、省エネルギー基準の改訂内容、環境建築の最新事例などを加えた改訂版を作成する。 <b>初年度：</b> ・バイオフィマティックデザイン改訂本の構成内容の検討 ・改訂本の編集会議 (出版社編集者を交えて) ・改訂本の出版 <b>2 年度：</b> ・シンポジウムの企画と開催 (改訂本の紹介)	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：廣谷純子 (みつつデザイン研究所) 幹事：金子尚志 (滋賀県立大)、高田真人 (熊本大) 委員：宇野朋子 (武庫川女子大)、源城かほり (長崎大)、斉藤雅也 (札幌市立大)、須永修通 (首都大東京)、築山祐子 (旭化成ホームズ (株))、中谷岳史 (信州大)、長谷川兼一 (秋田県立大)、佐藤理人 (ミサワホーム総研)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2021 年度予算	120,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	「設計のための建築環境学 みつける・つくるバイオフィマティックデザイン 改訂版 (彰国社)」(2021 年 3 月刊行済)
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー 等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	シンポジウム 「再考 設計のための建築環境学」開催 (2021 年 12 月 4 日) 参加者数 72 名
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	当初の予定とおり、シンポジウムを開催した。(12 月 4 日)
委員会活動の問題点 ・課題	特に無し

## 2021 年度 小委員会活動 自己評価

### (最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px 5px;">A</span> <span style="padding: 2px 5px;">B</span> <span style="padding: 2px 5px;">C</span> <span style="padding: 2px 5px;">D</span>
<p style="text-align: center;"><b>総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)</b></p>	<p>・2年間の活動期間中に、改訂本を刊行（2021年3月）し、それに関連したシンポジウムを開催（2021年12月）した。</p> <p>・シンポジウムには、研究者と学生、および意匠設計者等の多様な専門をもつ実務者の参加があった。開催後のアンケート調査では、「学術的な観点と設計の実践がうまくつながった内容だった」との感想を得た。本の刊行とシンポジウムを通して、「設計のための建築環境学」の普及に繋がる活動ができた。</p> <p style="text-align: center;">以上のことから、本委員会の自己評価を「A」とした。</p>

- 総合評価は4段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
  - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
  - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
  - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
  - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。